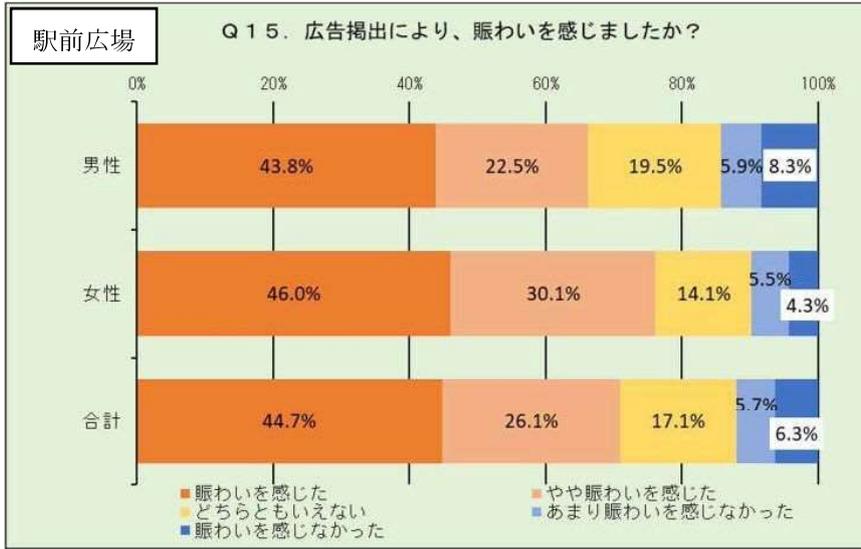


(駅前広場アンケート)

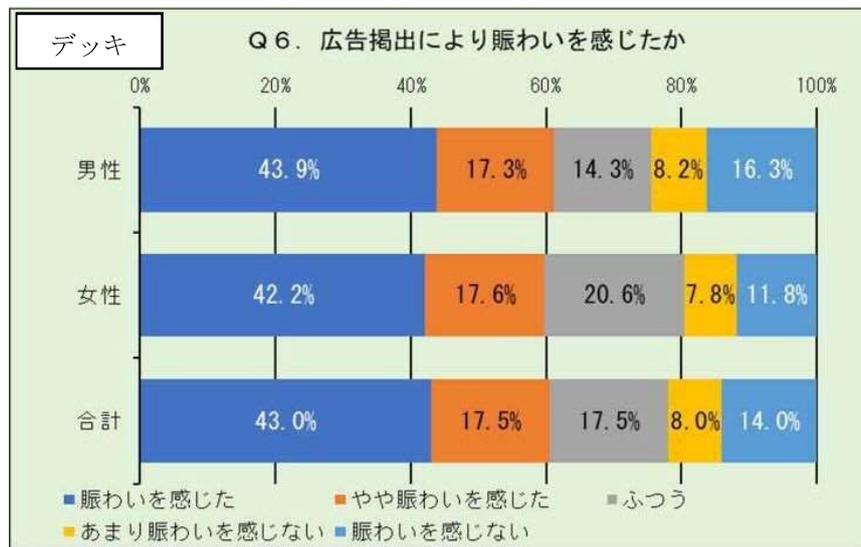
検証分野：賑わい創出

検証分野：賑わい創出

<p>検証項目 20：</p> <p>広告掲出による賑わいの創出、地域の魅力向上</p>																								
<p>検証方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家の意見聴取 ・ 利用者アンケート 																								
<p>検証施設：</p> <p>川崎駅東口駅前広場、川崎駅北口西側デッキ</p>																								
<p>検証内容：</p> <p>○ 専門家の意見聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告掲出が、賑わいの創出、地域の魅力向上に寄与しているかの確認。 <p>○ 利用者アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告掲出により賑わいを感じるか及び地域の魅力向上に寄与していると思うか。 																								
<p>検証指標：</p> <p>利用者アンケートにより、広告掲出による賑わいを感じた人、地域の魅力向上につながったと思う人の割合の確認。</p>																								
<p>評価基準（個別）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家より改善意見がある場合、その内容によって評価を1ランク下げることとする。 <p>5 アンケートにおいて8割以上の良い評価を受けている。</p> <p>4 アンケートにおいて6割以上の良い評価を受けている。</p> <p>3 アンケートにおいて4割以上の良い評価を受けている。</p> <p>2 アンケートにおいて2割以上の良い評価を受けている。</p> <p>1 アンケートにおいて2割未満の良い評価を受けている。</p>																								
<p>検証結果：</p> <p>○ 専門家の意見聴取</p> <p>広告掲出が、賑わいを創出し地域の魅力向上に寄与しているかについて検証委員会等において意見を伺った結果、専門家より改善意見は特になかった。</p> <p>○ 利用者アンケート</p> <p>広告掲出により賑わいを感じるか、利用者アンケートを行った結果、次のとおり賑わいを感じた人の割合は駅前広場で70.8%、デッキで60.5%と多くなっている。</p>																								
<p>検証評価：</p> <p>○ 川崎駅東口駅前広場</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">寄与していない</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">寄与している</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td style="border: 1px solid black;">4</td> <td>5</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 川崎駅北口通路西側デッキ</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">寄与していない</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">寄与している</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td style="border: 1px solid black;">4</td> <td>5</td> <td></td> </tr> </table>	寄与していない				寄与している		1	2	3	4	5		寄与していない				寄与している		1	2	3	4	5	
寄与していない				寄与している																				
1	2	3	4	5																				
寄与していない				寄与している																				
1	2	3	4	5																				



(駅前広場アンケート)



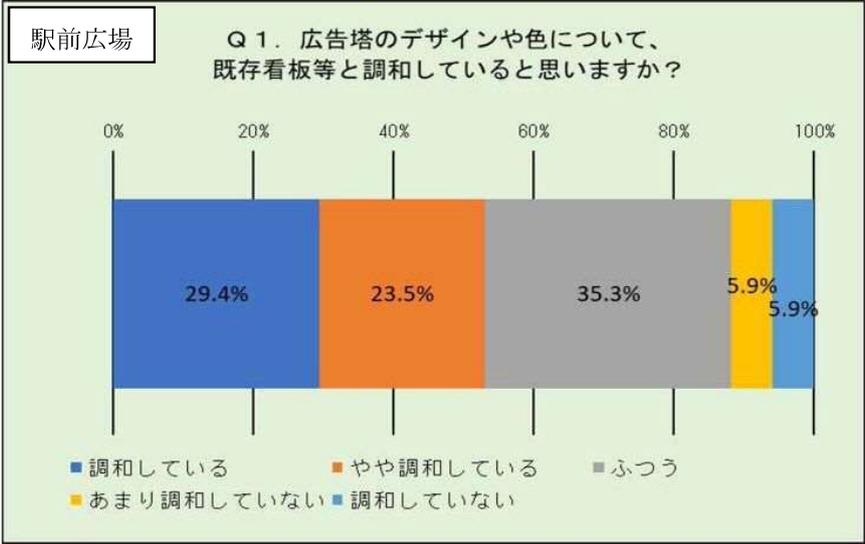
(デッキアンケート)

<p>検証項目 2 1 :</p> <p>既存看板等との調和</p>
<p>検証方法 :</p> <p>・ 専門家の意見聴取 ・ 利用者アンケート</p>
<p>検証施設 :</p> <p>川崎駅東口駅前広場、川崎駅北口西側デッキ</p>
<p>検証内容 :</p> <p>○ 専門家の意見聴取</p> <p>・ 既存看板等とデザインや文字の大きさ等が調和しているかの確認</p> <p>○ 利用者アンケート</p> <p>・ 既存看板等と調和していると思うか</p>
<p>検証指標 :</p> <p>既存看板等と調和が図られていると思う人の割合の確認。</p> <p>周辺商店等から意見の有無を確認。</p>
<p>評価基準 (個別)</p> <p>・ 専門家より改善意見がある場合、その内容によって評価を 1 ランク下げることとする。</p> <p>5 アンケートにおいて 8 割以上の良い評価を受けている。</p> <p>4 アンケートにおいて 6 割以上の良い評価を受けている。</p> <p>3 アンケートにおいて 4 割以上の良い評価を受けている。</p> <p>2 アンケートにおいて 2 割以上の良い評価を受けている。</p> <p>1 アンケートにおいて 2 割未満の良い評価を受けている。</p>
<p>検証結果 :</p> <p>○ 専門家の意見聴取</p> <p>賑わい創出の観点から既存看板等とデザインや文字の大きさ等が調和しているかについて検証委員会等において意見を伺った結果、看板等の掲出を少なくしシンプルで洗練されたデザインの建物が背景にある場合などを確認する必要があるとの意見があった。川崎駅を中心として見た場合において、広告塔 10 基のうち 2 基が指摘のような背景となっている。2 基の広告塔は紙広告となっていることもあり、全体としての影響の度合い大きくはないと考えられる。</p> <p>○ 利用者アンケート</p> <p>既存看板等と調和していると思うか、賑わいの創出の観点から確認するため、近隣商業者に対してアンケートを行った結果、次のとおり調和していると感じた人の割合は 52.9%となっている。また、調和していないと思う人の意見としては、広告塔が既存看板に比べて大きいという意見や広告塔が既存看板と比べて目立っていないなどの意見があった。</p>

検証評価：

調和していない 調和している

1 2 **3** 4 5



(近隣商業者アンケート)



(広告塔 No 1)



(広告塔 No 2)



(広告塔 No 3)



(広告塔 No 4)



(広告塔 No 5)



(広告塔 No 6)



(広告塔 No 7)



(広告塔 No 8)



(広告塔 No 9)



(広告塔 No 10)

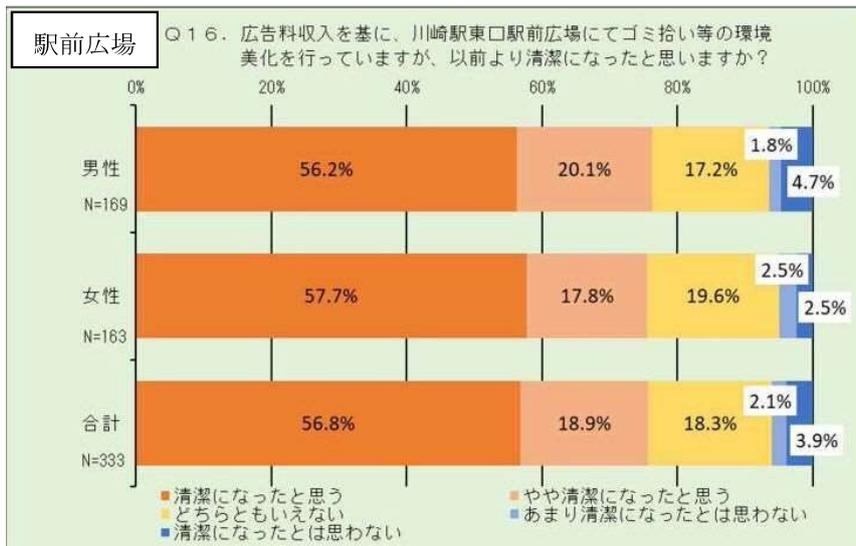
<p>検証項目 2 2 :</p> <p>新たな収益により実施するイベント数及びイベント来客数</p>
<p>検証方法 :</p> <p>・事業者報告</p>
<p>検証施設 :</p> <p>川崎駅東口駅前広場</p>
<p>検証内容 :</p> <p>・新たな収益によるイベント実施数及びイベント来客数の把握。これに伴い賑わいの創出に寄与したかどうかの確認。</p>
<p>検証指標 :</p> <p>定期的にイベントが実施されたかどうかを確認、イベント来客数の把握</p>
<p>評価基準 (個別)</p> <p>5 賑わいの創出に十分に寄与した。</p> <p>4 賑わいの創出に寄与した。</p> <p>3 どちらともいえない。</p> <p>2 賑わいの創出に寄与しなかった。</p> <p>1 賑わいの創出にまったく寄与しなかった。</p>
<p>検証結果 :</p> <p>社会実験の広告料を活用して川崎駅東口駅前広場において社会実験期間中に 2 回イベント (延べ 2 5 日、参加者数 6 万人以上) が開催されたことに伴い賑わいの創出に寄与した。</p>
<p>検証評価 :</p> <p style="text-align: center;">寄与していない 寄与している</p> <p style="text-align: center;">1 2 3 4 5</p>



検証分野：環境美化

検証分野：環境美化

<p>検証項目 23： 環境美化が図られているか</p>
<p>検証方法： ・利用者アンケート ・事業者報告</p>
<p>検証施設： 川崎駅東口駅前広場</p>
<p>検証内容： ○利用者アンケート ・社会実験の前より東口駅前広場が清潔になったと感じるか ○事業者報告 ・社会実験実施前と比べて清掃時のごみの回収量が減ったか</p>
<p>検証指標： 社会実験実施前より東口駅前広場が清潔になったと感じる人の割合の確認</p>
<p>評価基準（個別） ・ごみの回収量が開始時より1割以上削減できなかった場合、その内容によって評価を1ランク下げることとする。 5 アンケートにおいて8割以上の良い評価を受けている。 4 アンケートにおいて6割以上の良い評価を受けている。 3 アンケートにおいて4割以上の良い評価を受けている。 2 アンケートにおいて2割以上の良い評価を受けている。 1 アンケートにおいて2割未満の良い評価を受けている。</p>
<p>検証結果： ○利用者アンケート 社会実験の前より東口駅前広場が清潔になったと感じるか、アンケートを行った結果、下記のとおり清潔になったと感じた人の割合は75.7%と多くなっていることが確認できた。 ○事業者報告 社会実験の広告料により実施している清掃活動により、東口駅前広場のごみの回収量は、下記のとおり社会実験開始時より2割以上減少していることが確認できた。</p>
<p>検証評価： <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 美化されていない 美化された </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-top: 5px;"> 1 2 3 4 5 </div> </p>



(駅前広場アンケート)

月別ごみ回収量

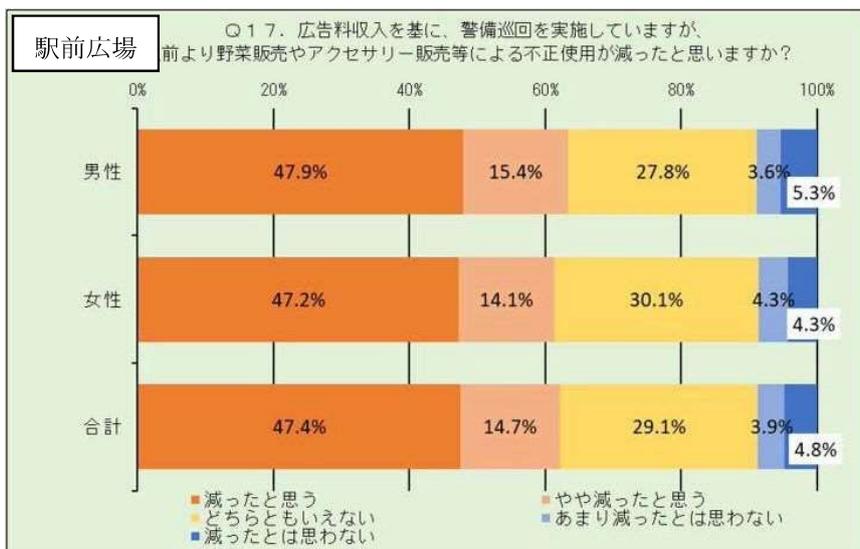
	9月 (14日間)		10月		11月	
販売行為	15件		12件		3件	
ポイ捨て	ペットボトル	1,200 リットル	ペットボトル	2,580 リットル	ペットボトル	2,500 リットル
	缶	1,620 リットル	缶	2,250 リットル	缶	2,390 リットル
	紙屑等	1,050 リットル	紙屑等	3,370 リットル	紙屑等	2,970 リットル
	ビン	280 リットル	ビン	655 リットル	ビン	610 リットル
	合計	4,150 リットル	合計	8,855 リットル	合計	8,470 リットル

	12月		1月		2月	
販売行為	0件		1件		0件	
ポイ捨て	ペットボトル	2,430 リットル	ペットボトル	2,030 リットル	ペットボトル	1,900 リットル
	缶	2,310 リットル	缶	2,020 リットル	缶	1,890 リットル
	紙屑等	2,790 リットル	紙屑等	2,520 リットル	紙屑等	2,520 リットル
	ビン	650 リットル	ビン	550 リットル	ビン	540 リットル
	合計	8,180 リットル	合計	7,120 リットル	合計	6,850 リットル

	6月	
販売行為	0件	
ポイ捨て	ペットボトル	1,905 リットル
	缶	1,975 リットル
	紙屑等	2,535 リットル
	ビン	435 リットル
	合計	6,850 リットル

※ 3～5月は新型コロナウイルス感染症等の影響により実施せず。

<p>検証項目 24 :</p> <p>露天商などによる駅前広場における不正使用事例数</p>
<p>検証方法 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート ・行政（まちづくり局拠点整備推進室）報告
<p>検証施設 :</p> <p>川崎駅東口駅前広場</p>
<p>検証内容 :</p> <p>○利用者アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警備巡回業務により、露天商などによる不正使用の減少などのマナー向上が図られたと感じるか <p>○行政（まちづくり局拠点整備推進室）報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警備巡回業務による実績報告により、露天商などによる不正使用の減少などのマナー向上が図られたか
<p>検証指標 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警備巡回活動により、露天商等による不正使用の減少等などのマナー向上が図られたと思う人の割合の確認。 ・行政による実績報告
<p>評価基準（個別）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不正使用の件数が開始時より1割以上削減できなかった場合、その内容によって評価を1ランク下げることとする。 5 アンケートにおいて8割以上の良い評価を受けている。 4 アンケートにおいて6割以上の良い評価を受けている。 3 アンケートにおいて4割以上の良い評価を受けている。 2 アンケートにおいて2割以上の良い評価を受けている。 1 アンケートにおいて2割未満の良い評価を受けている。
<p>検証結果 :</p> <p>○利用者アンケート</p> <p>警備巡回業務により、露天商などによる不正使用の減少などのマナー向上が図られたと感じるか、アンケートを行った結果、下記のとおり不正使用は減ったと感じた人の割合は62.1%と多くなっていることが確認できた。</p> <p>○行政（まちづくり局拠点整備推進室）報告</p> <p>警備巡回業務による実績報告により、露天商などによる不正使用が0件となっていることを確認した。</p>
<p>検証評価 :</p> <p style="text-align: center;"> 減少していない 減少している </p> <p style="text-align: center;"> 1 2 3 4 5 </p>



(駅前広場アンケート)

不正使用（販売行為）の件数

販売行為	9月（14日間）		10月		11月	
	15件		12件		3件	
ポイ捨て	ペットボトル	1,200 リットル	ペットボトル	2,580 リットル	ペットボトル	2,500 リットル
	缶	1,620 リットル	缶	2,250 リットル	缶	2,390 リットル
	紙屑等	1,050 リットル	紙屑等	3,370 リットル	紙屑等	2,970 リットル
	ビン	280 リットル	ビン	655 リットル	ビン	610 リットル
	合計	4,150 リットル	合計	8,855 リットル	合計	8,470 リットル

販売行為	12月		1月		2月	
	0件		1件		0件	
ポイ捨て	ペットボトル	2,430 リットル	ペットボトル	2,030 リットル	ペットボトル	1,900 リットル
	缶	2,310 リットル	缶	2,020 リットル	缶	1,890 リットル
	紙屑等	2,790 リットル	紙屑等	2,520 リットル	紙屑等	2,520 リットル
	ビン	650 リットル	ビン	550 リットル	ビン	540 リットル
	合計	8,180 リットル	合計	7,120 リットル	合計	6,850 リットル

販売行為	6月	
	0件	
ポイ捨て	ペットボトル	1,905 リットル
	缶	1,975 リットル
	紙屑等	2,535 リットル
	ビン	435 リットル
	合計	6,850 リットル

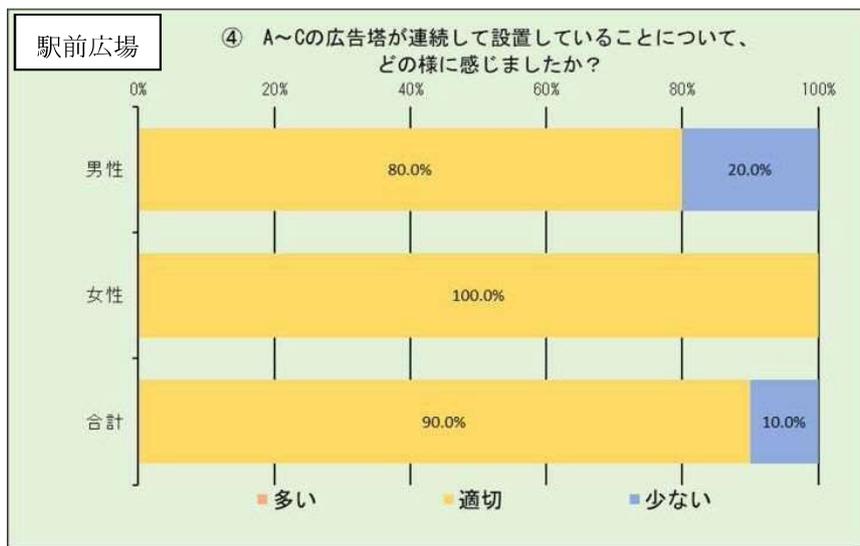
※3～5月は新型コロナウイルス感染症等の影響により実施せず。

○追加検証項目

1 連続して設置してある広告塔が利用者に与える印象について

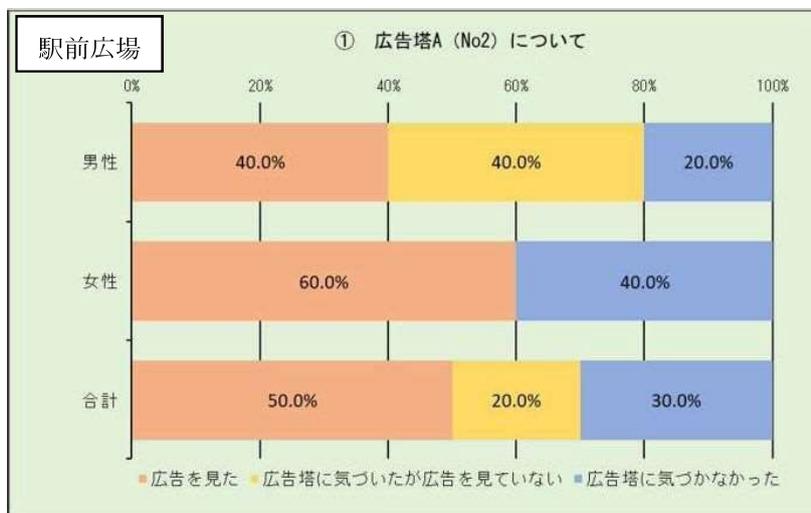
※事前に広告塔の情報を与えずに、市役所側から川崎駅に向かって歩いた後にアンケートを実施した。(広告塔 No7,1,2 の順番)

① 3基が連続して設置していることについての印象



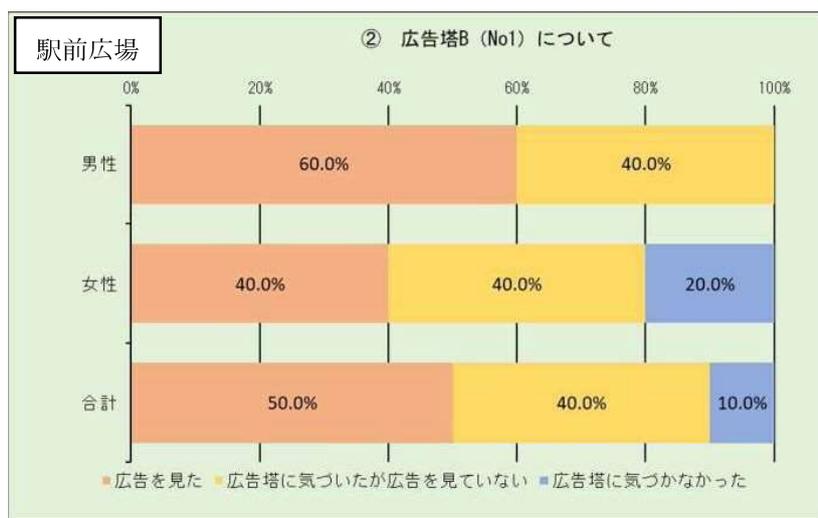
(夜間アンケート)

② 広告塔 (No2) について



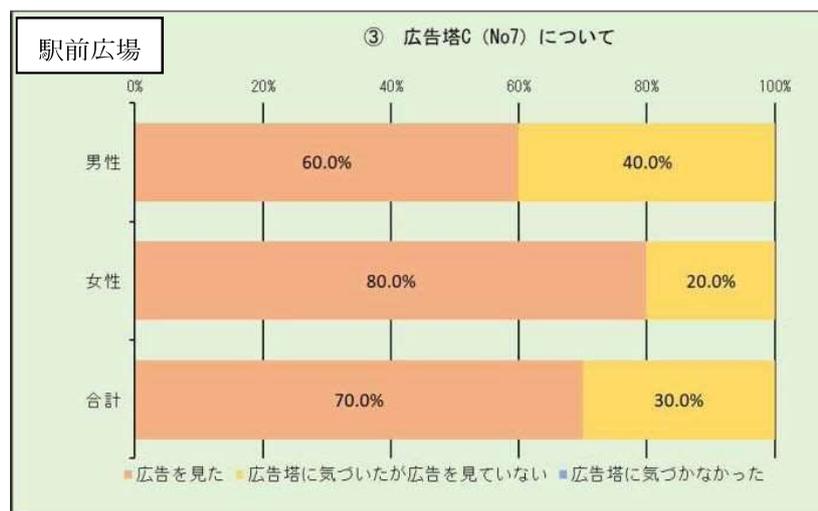
(夜間アンケート)

③ 広告塔 (No 1) について



(夜間アンケート)

④ 広告塔 (No 7) について



(夜間アンケート)

2 バス停留所等の近距離における広告塔の視認性

※ 広告塔から 1 m の距離における視認性を確認した



(夜間アンケート)

6 検証に係る経過

- 平成31年1月25日 平成30年度第2回川崎市屋外広告物審議会（諮問）
- 令和元年 5月 9日 令和元年度第1回川崎市都市景観審議会（報告）
- 令和元年 7月22日 第1回川崎駅周辺地区における広告物社会実験に係る検証委員会
- 令和元年 8月 7日 令和元年度第1回川崎市都市景観審議会専門部会（報告）
- 令和元年 8月22日 令和元年度第2回川崎市都市景観審議会専門部会（報告）
- 令和元年10月29日 令和元年度第1回川崎市屋外広告物審議会（報告）
- 令和2年 1月21日 令和元年度第2回川崎市屋外広告物審議会（現地確認）
- 令和2年 3月16日 令和元年度第3回川崎市都市景観審議会（報告）
- 令和2年 8月19日 第2回川崎駅周辺地区における広告物社会実験に係る検証委員会
- 令和2年 9月 3日 令和2年度第1回川崎市都市景観審議会（報告）
- 令和2年 9月15日 令和2年度第1回川崎市屋外広告物審議会（諮問）

川崎駅周辺地区における広告物社会実験に係る検証委員会
検証委員名簿（令和元年度）

（敬称略）

職 名	氏 名
専修大学教授	石崎 徹
東京工業大学教授	中井 検裕
早稲田大学理工学術院教授	有賀 隆
川崎駅広域商店街連合会長	馬場 義弘
かわさき TMO 機関 タウンマネージャー	大木 淳
川崎警察署交通課長	佐藤 哲也
川崎警察署生活安全第二課長	照井 隆也
川崎市建設緑政局路政課長	越畑 勝
川崎区役所道路公園センター管理課長	稲垣 道人
まちづくり局拠点整備推進室長	藤原 徹

川崎駅周辺地区における広告物社会実験に係る検証委員会
委員名簿（令和2年度）

（敬称略）

職 名	氏 名
専修大学教授	石崎 徹
東京工業大学教授	中井 検裕
早稲田大学理工学術院教授	有賀 隆
川崎駅広域商店街連合会長	鬼塚 保
かわさき TMO 機関 タウンマネージャー	大木 淳
川崎警察署交通課長	打田 和秀
川崎警察署生活安全第二課長	照井 隆也
川崎市建設緑政局路政課長	柿沼 雅之
川崎区役所道路公園センター管理課長	稲垣 道人
まちづくり局拠点整備推進室長	藤原 徹

川崎市都市景観審議会委員名簿

平成30年7月1日現在
(定数15名、敬称略)

区 分	役 職 名	氏 名
学識経験者 (6名)	早稲田大学理工学術院教授	有 賀 隆
	工学院大学教授	木 下 庸 子
	多摩美術大学教授	小 泉 雅 子
	芝浦工業大学教授	鈴 木 俊 治
	首都大学東京非常勤講師	園 さゆり
	(株)近田玲子デザイン事務所取締役	野 澤 壽 江
市 民 (9名)	川崎工業振興倶楽部副会長	野 村 光
	国際ソロプチミスト川崎 プログラム委員	大 坂 明 子
	川崎市地域女性連絡協議会 理事・麻生地区長	神 本 一 枝
	(一社)川崎市商店街連合会副会長	鴨志田 敏 彦
	川崎市総合文化団体連絡会理事	菅 野 利 勝
	川崎商工会議所副会頭	山 村 弘 樹
	公募委員	坪 井 武 信
	公募委員	中 川 泰 三
	公募委員	森 岡 秀 悟

川崎市都市景観審議会委員名簿

令和元年11月1日現在
(定数15名、敬称略)

区 分	役 職 名	氏 名
学識経験者 (6名)	早稲田大学理工学術院教授	有 賀 隆
	工学院大学教授	木 下 庸 子
	多摩美術大学教授	小 泉 雅 子
	芝浦工業大学教授	鈴 木 俊 治
	首都大学東京非常勤講師	園 さゆり
	(株)近田玲子デザイン事務所副代表	野 澤 壽 江
市 民 (9名)	川崎工業振興倶楽部副会長	野 村 光
	国際ソロプチミスト川崎 環境・福祉委員	小 林 町 子
	川崎市地域女性連絡協議会理事	牧 山 美 枝 子
	(一社)川崎市商店街連合会会長代行	柳 沢 正 高
	川崎市総合文化団体連絡会理事	菅 野 利 勝
	川崎商工会議所副会頭	増 山 雅 久
	公募委員	中 川 泰 三
	公募委員	森 岡 秀 悟
	公募委員	与 本 剛 三

川崎市都市景観審議会委員名簿

令和2年7月1日現在
(定数15名、敬称略)

区 分	役 職 名	氏 名
学識経験者 (6名)	早稲田大学理工学術院教授	有 賀 隆
	工学院大学教授	木 下 庸 子
	多摩美術大学教授	小 泉 雅 子
	芝浦工業大学教授	鈴 木 俊 治
	東京都立大学非常勤講師	園 さゆり
	(株)近田玲子デザイン事務所副代表	野 澤 壽 江
市 民 (9名)	川崎工業振興倶楽部会長	柳 瀬 徹
	国際ソロプチミスト川崎 環境・福祉委員	小 林 町 子
	川崎市地域女性連絡協議会理事	牧 山 美 枝 子
	(一社)川崎市商店街連合会会長代行	柳 沢 正 高
	川崎市総合文化団体連絡会理事	小 笠 原 功
	川崎商工会議所副会頭	増 山 雅 久
	公募委員	中 川 泰 三
	公募委員	森 岡 秀 悟
	公募委員	与 本 剛 三

平成 30・31 年度川崎市屋外広告物審議会委員名簿

	氏 名	役 職 名
学 識 経 験 者	会 長 石 崎 徹 委員	専修大学 教授
	副会長 山 本 早 里 委員	筑波大学 教授
	山 下 りえ子 委員	東洋大学 教授
	佐々木 美由紀 委員	(株)ラス アソシエイツ 代表取締役
	田 中 泉 委員	(有)カイデザイン 代表取締役
	館 克 則 委員	川崎地域連合 事務局長
	加 藤 哲 郎 委員	川崎商工会議所 常議員
	竹 内 淳 委員	神奈川県県土整備局都市部都市整備課長
業 界 代 表 者	浅水屋 美 枝 委員	(一社)神奈川県広告美術協会 専務理事
	保 莉 茂 委員	神奈川県興行生活衛生同業組合 副理事長
市 民 委 員	山 本 信 治 委員	
	渡 辺 俊 夫 委員	
	小 山 憲 治 委員	

令和2年度川崎市屋外広告物審議会委員名簿

	氏 名	役 職 名 (専攻)
学 識 経 験 者	会 長 石 崎 徹 委員	専修大学 教授 (商学 (広告、マーケティング、消費者行動))
	副会長 山 下 りえ子 委員	東洋大学 教授 (民事法学 (契約法、不法行為法))
	大 友 邦 子 委員	筑波大学 准教授 (感性科学 (視覚・映像デザイン))
	佐々木 美由紀 委員	(株)ラス アソシエイツ 代表取締役 (都市・商業施設計画等のトータルプロデュース)
	田 中 泉 委員	(有)カイデザイン 代表取締役 (グラフィックデザイン、デジタルサイネージ)
	舘 克 則 委員	川崎地域連合 事務局長
	加 藤 哲 郎 委員	川崎商工会議所 常議員
	齋 藤 貫 委員	神奈川県県土整備局都市部都市整備課長
業 界 代 表 者	浅水屋 美 枝 委員	(一社)神奈川県広告美術協会 専務理事
	保 莉 茂 委員	神奈川県興行生活衛生同業組合 副理事長
市 民 公 募	山 本 信 治 委員	
	小 山 憲 治 委員	
	壬 生 洋 二 委員	

川崎駅周辺地区における公共空間を活用した
広告事業の社会実験に係る効果検証結果

令和2(2020)年10月

【問合せ】

川崎市 まちづくり局 拠点整備推進室

電話 044-200-3803

FAX 044-200-3967

Email 50kyoten@city.kawasaki.jp



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

川崎駅周辺地区における公共空間を活用した 屋外広告物掲出ガイドライン(案)

1. ガイドライン策定の目的と位置付け

- (1) 背景
- (2) 目的・位置付け
- (3) 社会実験がもたらす効果や影響の検証
- (4) ガイドラインの策定フロー
- (5) 社会実験のスキーム図

2. 推進方策

- (1) 対象となるエリア
- (2) 対象となる広告物
- (3) 広告物掲出基準
- (4) 審査体制等

【参考】川崎駅周辺地区における広告物関連法令・基準等

- (1) 川崎市屋外広告物条例
- (2) 川崎市屋外広告物条例施行規則
- (3) 川崎駅周辺景観計画特定地区 景観形成方針・基準
- (4) 川崎市広告掲載要綱
- (5) 川崎市広告掲載基準
- (6) 川崎市道路占用規則
- (7) 道路占用許可基準

1. ガイドライン作成の目的と位置付け

(1) 背景

・川崎駅周辺地区では、平成18年4月に「川崎駅周辺総合整備計画」を策定し、東口駅前広場の再編整備をはじめ、駅周辺における民間活力を活かした土地利用の誘導等により、計画的かつ段階的なまちづくりを進めてきたところである。

・一方で東口駅前広場については整備から8年が経過し、ゴミの散乱や落書き、路上生活者、不法占用などが見受けられるなどの課題を抱えている。

・また全国的な傾向として、高度成長期に整備された社会資本が急速に老朽化し、維持管理・更新費の増大が見込まれ、本市においても例外でなく、逼迫する財政状況の中、効率的かつ効果的な維持管理等の検討を進めるとともに、公共空間での民間による収益事業を実施し、その一部を維持管理に充当することで管理の高質化を図るなど、新たな財源をまちづくりに還元する仕組みを構築する必要がある。

・近年では都市再生特別措置法の改正（平成23年10月）により、道路空間を活用して賑わい創出を図る制度が創設されており、本市の玄関口として、駅周辺の公共空間を活用した、賑わい創出や商業活性などの取組が求められている。

・そこで本市では、川崎駅周辺の公共空間を有効活用し、駅周辺の更なる商業活性化やまちの賑わいの創出を図るとともに、新たに生まれた財源を、周辺の環境美化やまちづくりに還元・再投資することで、スパイラルアップによる川崎駅周辺の価値の向上を図ることを目指し、平成30・31年度に、駅前広場周辺において広告塔の設置などの社会実験を実施し、歩行者の通行環境や自動車運転手へ与える影響などを検証した上で、令和2年度以降に本格実施に移行することを想定し、取組を実施してきた。

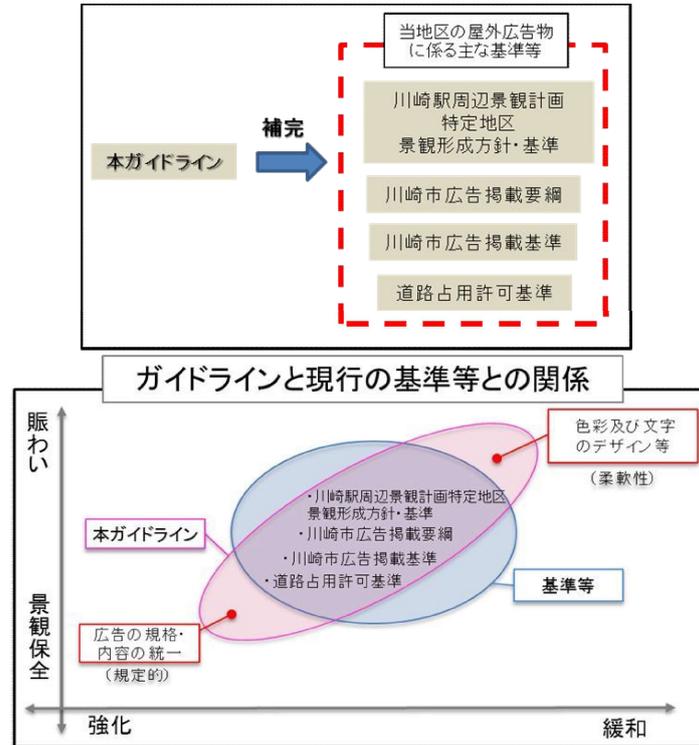
・このような取組や、近年の国や他自治体の動向等を踏まえ、禁止地域である川崎駅東口駅前広場及び西口広場や、禁止物件に該当する川崎駅北口通路西側デッキにおいて広告物を掲出できるよう、屋外広告物条例を改正したところであり、今後、公共空間の有効活用の取組を推進していくものである。



1. ガイドライン作成の目的と位置付け

(2) 目的・位置付け

本ガイドラインは、良好な景観の形成や公衆の安全性の確保などを目的に、条例改正によって、新たに広告物の掲出が可能となる駅前広場や歩行者デッキという公共空間において、広告物を掲出する際に新たに必要となるルール、基準や審査体制を示すものである。もちろん、当該エリアは景観計画特定地区に含まれるなど、既に様々な基準等が規定されているエリアであることから、基本的にはこれによるものとするが、多くの人が利用する公共空間という観点から、新たに必要となるルールを定め、駅周辺の更なる商業活性化やまちの賑わい創出を図る観点から、柔軟な対応を図ることも可能にすることで、既存の基準等を補完することを目的とするものである。



(3) 社会実験がもたらす効果や影響の検証

社会実験の実施にあたっては、「周辺の景観形成」、「歩行者等の安全・安心」、「事業性・公益性」、「賑わい創出」、「環境美化」の5つの観点から、その効果及び影響の検証を行うこととする。

